



## 集団クレジット被害事件とその手口 その1

### 【Aという詐欺師の手口】

夫とともに宝石商を営んでいたAの被害者は推計50～100人。私はすでに11人（8月10日現在）の被害者からクレジット会社宛に内容証明郵便を送る仕事を依頼され、現在進行形の事件である。

Aは、主に自分の店（他の宝石店を使う場合もまれにある）の宝石類（ダイヤの指輪、真珠のネックレス、18K指輪など）を、他人の名義で購入した形を装い、他人名義でローン契約を結び、クレジット会社からお金を受け取ることを繰り返してきた。1人当たり150万円～400万円ぐらいのローンを組んでいるから、かりに平均200万円として被害者100人だとすると、Aは約2億円をクレジット会社から受け取っていたことになる。

「騙した方はもちろんだが騙される方も悪い」、こう言いたくなるのだが、騙すには騙すだけの「実績」と手口がある。A曰く、「品物はそのうち届くから」「（届かなければ）私が責任をもってローンは払うから心配しないで。いままで全部払ってきたんだから」。もちろん、名義を使われた被害者たちには一切宝石類は届いていない。宝石は一切届けず、Aがローンを「肩代わり」する方式がすべてで、実際、途中までAは支払い続けてきた「実績」があった。初対面のときには手土産も忘れない。

たぶん、生活費と会社経営の資金繰りのため、自転車操業を続けていたのであろう。長続きしなかった。次第に支払いが滞り始めた。ある日、Aは主だった知人（被害者）に、「私、自己破産することにしたら、もう払えない。あなたたちも弁護士を頼むなりしてなんとかして」と告げ回った。そしてまもなく債権者宛に「破産手続廃止決定証明」（＝Aに配当すべき

財産がないため配当なしで手続きを終了するという通知）が送られてきた。

被害者たちはあわてた。いつせいにクレジット会社から督促状が届き、督促電話が来始めた。

### 【架空クレジット申込が多発する理由】

クレジット契約は、信販会社がクレジット契約に直接立ち会えず、販売店を代理人（または使者）として契約する一方、電話確認などの形式的調査だけで販売店に代金を一括して支払う仕組みなので、Aのような資金調達のために消費者の名義を使う実態のない架空のクレジット申込が作り出される例が多い。1983年3月、通産省は「個品割賦購入あっせん契約に関する消費者トラブルの防止について」という通達を出し、販売業者の調査を厳格に行うこと、消費者の契約意思の確認を厳格に行うことなどを指導してきたが、被害事件は後を絶たない。政府（経済産業省）によるクレジット会社に対する指導・監督の強化や立法による規制強化の必要性が指摘される所以である。

この事件の被害実態をみると、「名義貸」の場合と「名義冒用」の場合とがある。その中にもいくつかのバリエーションがあって、一度「名義貸」を了承した人の筆跡をAがカーボン用紙が何かでなぞって勝手に申し込んでいた場合、架空の会社名を名義人の勤務先であるかのように装って申込用紙を記入していた場合、勝手に連帯保証人にされてしまっていた人、など様々だ。Aが信販会社を騙すためあの手この手を駆使していることがわかる。

ひとたび獲物を獲得すれば、芋づる式に「あなたの娘さんもどうかしら？」「あなたのお知り合いで誰かいない？」と誘い、短期間（平成18年～平成20年頃）に被害は拡大していった。（つづく）

## 黒子とグレ子の「税金おとな相談室」(第6回)

税理士 関根 忍



### ■帳簿の付け方(その3)と計算書類

前回までで、仕訳までたどり着きました。

では、会計ソフトが作ってくれた書類を見てみましょう。

会計帳簿の集大成は、貸借対照表と損益計算書です。

貸借対照表は会社の財政状態を、損益計算書は会社の経営成績を表す書類です。簡単に言ってしまうと、貸借対照表は会社の「成分表」で、損益計算書は「燃費表」です。

貸借対照表は、今この会社が何で出来ているかを見ることができます。この時に、前回お話しした貸借対照表の「増えた方」にそれぞれのグループの数字が乗っているはず。資産のグループが左側、負債と資本のグループが右側です。ここでわかるのが、資産が何でできているかという成分表です。

資産は財産です。左側にあるその財産の根拠が、

右側にある負債と資本です。現預金（資産）がいっぱいあっても、借入金（負債）がそれ以上にあれば、銀行から督促があった時に現預金が足りません。負債を他人資本と呼び、資産に対する割合が大きいと黄色信号です。

損益計算書は、その会社がどのようなお金の使い方方で儲けあるいは損を出しているのかを見ることができます。

売上総利益は粗利、営業利益は普通の活動利益、経常利益は本業以外を含む利益、そして税引前当期利益は特別な事情も含んだ利益です。つまり最終的に利益が出ても、営業利益が悪ければ、本業だけでは潰れてしまうし、営業利益が良くても経常利益がマイナスならば、借入金の利子負担が多すぎる

（例）などの、燃費の悪さを教えてくれるのです。

（つづく）



## 「防衛機制について①」

### <「防衛機制」とは?>

例えばパニックに陥ったときなど、考えがまとまらなくなったり、何も手につかなくなったりすることは、誰にでもあることです。

それでも自分の力や他人の援助で何とか踏ん張り、乗り越えられれば問題はないのですが、常に乗り越えられるとは限りません。

そんなときに、心が分裂したり、崩壊したりすることを防ぐ(自我の崩壊を防ぐ)メカニズムが「防衛機制」なのです。「防衛機制」が機能することにより、自分の心を無意識の内に守っているのです。

以下、「防衛機制」の種類について、一つ一つ説明いたします。

### <「防衛機制」のいろいろ>

#### ① 抑圧

自分の本音を他人に知られたくないの、無意識の内に感情を忘却すること。

(例)「お金は卑しいもの」→「お金が欲しい」という気持ちを抑圧している。

抑圧が度を超すと、病理現象として表出します。その方法は以下の3つに分けられる。

A 行動化：普段抑圧している行動がストレートに表出されるが、強迫性が強く、相手・場所・状況を識別せずに感情表現をしてしまう

B 心理化：心理的な反応が強迫性を帯びてくること。

(例)上司を憎悪している部下が憎悪を抑圧すると、見かけはいつもニコニコしていても内心は上司を恐れ、常に緊張している。怖がる必要の無いときを判別できない。

C 身体化：いわゆる心身症のこと。身体的な病気として表れること。

(例)「人事異動後(あるいは退職後)しばらくしたら高血圧が治った」→この場合の高血圧。他には不眠・頭痛・蕁麻疹など。

#### ② 昇華

現実・原則に即した形で欲求を充足すること。昇華の方法は学習の結果であり、幼少期以降に人から教わって身に付けるものである。

(例)自分が甘えたいという欲求を、幼児をかわいがることで充足する。

#### ③ 合理化

理屈付けをすること。自分を自分で見つめることも嫌だし、人に知られるのも嫌なので、正当化する。

(例)「暴力を振るうのはお前のことを愛しているから(愛のムチ)だよ。」

#### ④ 置き換え

感情反応の焦点を、対象そのものから対象に付随するものに置き換えて、外界からの攻撃を防ぐこと。

(例)父を憎む息子が、父自体は拒否しないが、父の職業を拒否する。あるいは跡継ぎになることを拒否する。

#### ⑤ 感情転移

感情反応の焦点を、対象そのものから対象に類似するものにずらし、外界からの攻撃を防ぐこと。

(例)父を憎む息子が、上司など年上の男性を憎む。

#### ⑥ 同一化

模倣の強度のものであり、相手は自分の分身、自分は相手の分身として捉え、自他一体となる。この一体感は孤独・不安を消すが、一方で自分を失っている。

#### ⑦ 摂取

自分自身の中に他者を取り入れ、生きる力の源泉とし、外界への恐怖を克服する。

(例)親・教師の好ましい態度を自分自身の行動として取り入れる。

#### ⑧ 知性化

本能や衝動をなまなましく表出することを恐れ、抽象化する。

(例)怒りに任せて他者を怒鳴る自分を見られたくない、また、そういう自分を認めたくないため、「君には何となく抵抗を感じる」という言い方をする。

#### ⑨ 退行

現実世界が怖いので、いつまでも幼児の世界にとどまっていようとする行動。自分で解決不可能な問題が起こったときに必ず起こる行動であるが、成長していくうちに見られなくなった行動とも言える。

(例)泣く・夜尿・指しゃぶり・プレイボーイのように遊んで暮らしたい(と思い、行動する)など。

#### ⑩ 逃避

現実が苦しいので、他の現実逃避に逃げて快樂原則を満たそうとする。

(例)家庭生活が苦しいので、宗教・学問・仕事・ギャンブル等に逃避する。

「防衛機制」の他の種類は次回で述べます。

ここまでの説明を読む限り、「防衛機制」は良さ気なものもあれば、病的なものもあるように感じますが、どれも過度に機能すると、心の自由を奪って負荷をかけてしまい、心を守っているつもりがかえって心を攻撃してしまうのです。その結果、病的になるのです。

逆にこれらの機能が全く機能していなければ、いわゆる「(周りから見て)分かりやすい」人ではありますが、あまりにも自分の感情・感覚にストレート過ぎ、周りがストレスを感じてしまいます。

「防衛機制」は単に自分の心を守るだけではなく、自分の感情・感覚と外界との折り合いをうまくつけて社会生活を送るためにも必要なものなのです。